

エゾシカ対策に係る市町村打ち合わせ会議について

1 趣旨

道では、平成29年3月に「北海道エゾシカ管理計画（第5期）」を策定し、市町村や関係機関等と連携を図り対策を推進しているところであるが、地域における対策の主体である市町村と実務的な意見交換を行い、地域課題等を収集し対策を行うため、市町村との打ち合わせ会議を実施。

2 開催状況

開催日	場所	出席者数
H30. 8. 21 (火)	釧路総合振興局	15
H30. 8. 22 (水)	根室振興局 (中標津経済センター)	15
H30. 10. 12 (金)	留萌振興局	15
H30. 11. 22 (木)	十勝総合振興局 (芽室町中央公民館)	31
H30. 11. 29 (木)	宗谷総合振興局	21
H31. 2. 25 (月)	上川総合振興局	43
R 1. 8. 19 (月)	後志総合振興局	20
R 1. 8. 21 (水)	日高振興局	18
R 1. 11. 26 (火)	空知総合振興局	31
R 1. 12. 11 (水)	石狩振興局	43
R 1. 12. 13 (金)	オホーツク総合振興局	31
R 2. 1. 30 (木)	檜山振興局	

3 出席者

- 道 (生物多様性保全課エゾシカ対策G、振興局環境生活課・農務課)
- 道立総合研究機構環境科学研究センター自然環境部
- 市町村鳥獣担当者

4 議題

- (1) 現状説明
- (2) エゾシカ捕獲推進プランと市町村被害防止計画の状況
～推進プランと被害防止計画の捕獲目標数の考え方
- (3) 鳥獣被害防止総合対策交付金事業の活用状況
～推進事業 (国 10/10) の活用、捕獲奨励金単価の状況など
- (4) 地域における課題

(市町村からの主な意見)

- ・ハンターの高齢化による減少で捕獲体制が維持できない
- ・狩猟免許取得に係る助成を行っているが活用されない
- ・国の交付金事業予算が要求額より少ない
- ・奨励金の確認 (写真撮影) が高齢ハンターに負担である
- ・市町村職員向けの研修を実施してほしい